

IV. 新町ホームきぼうの事業報告

令和6年度においては、新型コロナウイルス感染防止を第一に考え、感染対策の徹底を図りながら日常生活を楽しく過ごしました。

方 針 利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の身体の状態や精神の状態に気を配りながら支援を行いました。また、日常生活上における入浴、排せつ、食事の介助、相談など、その他の援助を利用者のニーズに合わせながら適切に行いました。

なお、空室が生じた時は、その空室を利用して一時的に共同生活住居に入居し、自立生活に向けた体験利用も実施しました。また、利用者とその家族の緊急時における、宿泊を伴う短期入所の提供を開始しました。

I) 共同生活支援援助事業

1. 状況

(1) 入居者

利用人数（令和7年3月31日現在）

指定共同生活援助（新町：定員6名，岩崎：定員7名）															
	月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
本 入 居	契約数	新町	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
		岩崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
	延利用人数		96	91	86	94	80	87	96	83	87	80	88	143	1,111
	稼働率		66.6	65.9	65.1	65.2	66.6	65.9	66.6	65.8	65.9	66.6	66.6	71.2	66.6
体 験	延利用人数		41	38	42	45	39	42	46	36	43	45	42	30	489
合 計	延利用日数		137	129	128	139	119	129	142	119	130	125	130	174	1,600
	稼働率		95.1	93.4	96.9	96.5	99.1	97.7	98.6	94.4	98.4	104.1	98.4	85.6	96.0

年齢（令和7年3月31日現在）

年齢	18未満	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
人数	0	0	0	2	6	2	0	10

障害者総合支援法に基づく障害支援区分（令和7年3月31日現在）

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
人数	0	0	0	2	4	4	0	10

市町村別（令和7年3月31日現在）

小牧市	10名	体験利用契約者	14名
-----	-----	---------	-----

(2) 職員 22名（令和7年3月31日現在）

管理者1名、サービス管理責任者2名、世話人9名、生活支援員10名（内夜間支援従事者5名）

※主たる職種

2. 支援・指導

＜豊かな生活から自立に向かう＞

一人ひとりの障がい状況に応じて日常生活の支援を行い、生活の中において個々の意思や希望を叶えるため、意思決定が行えるよう支援をしました。また、自主性を育てながら、簡単な生活上の行為

を各自で行うよう支援（援助）に努めました。

地域や家庭との結びつきを大切に、安心・安全な生活の提供と利用者に寄り添った支援に努めました。

（１）日常生活支援

- ・対人関係を考慮しつつ、利用者同士が互いに仲間を大切にするよう支援・援助を行いました。
- ・日常生活面における相談および食事、入浴、排せつ、調理、買い物等の基本的な生活の介助や支援に努めました。
- ・簡単な生活上の行為（洗濯干し、たたみ、自室の掃除等）を各自で行えるよう支援・援助を行いました。

（２）余暇支援

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により様々な催し物（行事や外食等）の提供が難しい状況でしたが、誕生日会をはじめ、夕食のテイクアウトの利用、近所のお店への買い物やクリスマス会等の企画をし、生活の中の楽しみとなるよう支援・援助を行いました。

（３）健康管理支援

- ・健康状況などを把握し、疾病予防、健康管理に努めました。家族や日中活動の事業所との連携を密にし、利用者の体調の変化に応じて迅速な対応に努めました。

（４）個別支援計画の作成

- ・利用者の状況やニーズに応じた適切なサービスを提供するため、アセスメントを実施し、個別支援計画を作成しました。また、作成された支援計画を実施し、モニタリングを行い、生活の見直しをしました。

（５）災害時および緊急時への対応

- ・非常災害対策計画に基づき、安心・安全な生活を送れるよう家族や地域、関係機関との連絡体制を整え、出勤前、帰宅後や就寝時間に防災訓練を行いました。
- ・利用者の呼出し等速やかに対応できるよう常時連絡できる体制を確保しました。

（６）嗜好調査

- ・食事等についての意見や要望を聞き、バランスのとれた食事等に配慮しました。また夕食の選択（テイクアウト）を実施しました。

（７）地域との交流

- ・地域や地域住民の理解促進のために地域自治会に加入し、地域の一員として積極的にあいさつをして交流に努めました。

（８）体験利用

- ・入居に向けた共同生活援助の体験の場を提供し、自立生活に向けた支援をしました。

３．行事等の活動

月	日	行 事 等 の 内 容
８	２ ７	消防設備点検
	２ ８	防災訓練（夜間）
	１ ２～１ ８	夏季休暇帰省
１ １	２ ６	防災訓練（夕方）
１ ２	２ ８～１ / ５	年末年始帰省
１	１ ７	防災訓練（夕方）
２	１ ２	消防設備点検
３	２ ５	地域連携推進会議
	３ １	年度末特別休暇

※個別懇談会（モニタリング等）を実施

※該当者がいる月に誕生会を実施
 ※毎月1回は夕食の選択（テイクアウト）と朝食にパンメニューを実施
 ※スイカ割り、花火、クリスマス会など季節に合わせた行事を実施

4. 各種会議等

・地域連携推進会議の実施（令和7年3月25日実施）

・職員の資質向上、専門知識の修得等

外部研修 各種団体等の研修会（年3回、延3名）※オンラインを含む
 共同生活援助事業所の意見交換会
 共同生活援助オンライン交流会

内部研修 日常事例から兼務職員による直接的な支援・対応の仕方の助言
 年度末研修会（年1回、8名）
 虐待防止・身体拘束適正化研修 年2回
 事業継続計画について 年2回

5. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

	期 日	実 習 等 の 内 容	人数
見学	9/17・9/30	社会福祉士資格取得実習生	2名
見学	1/23・2/18	職員採用に向けた見学	2名

6. ボランティアの受け入れ

特になし

7. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ご意見・ご要望：0件

8. 公益的な取り組み

特になし

9. 施設整備（設備整備）関係

岩崎ホームきぼう新築

工 期 令和6年9月1日～令和7年2月28日

総事業費	85,864,000円
小牧市障害者福祉施設等整備費補助金 （建物10,000,000円、備品150,000円）	10,150,000円
福祉医療機構借入金	58,100,000円
自己資金	17,614,000円

Ⅱ) 短期入所事業（空床利用型）

（１）内容

利用者とその家族の緊急時において、その置かれている状況・環境に応じて、入浴、排泄及び食事等の介護、生活等に関する相談及び助言、宿泊を伴う介護その他生活全般にわたる支援を行い、安定した日常生活の継続の助けとなるよう事業の整備をしました。また、家庭との結びつきを大切に、安心・安全な生活の提供を行うために、相談支援専門員を含めた市内の保健・医療・福祉サービスを取りまく関係者と密接に連携し、地域における生活の安心感を担保している機能を備えました。令和６年度において、利用はありませんでした。

（２）契約者数 ０名（令和７年３月３１日現在）

（３）職員 ２０名（令和７年３月３１日現在）

管理者１名、世話人９名、生活支援員１０名（内夜間支援従事者５名） ※主たる職種